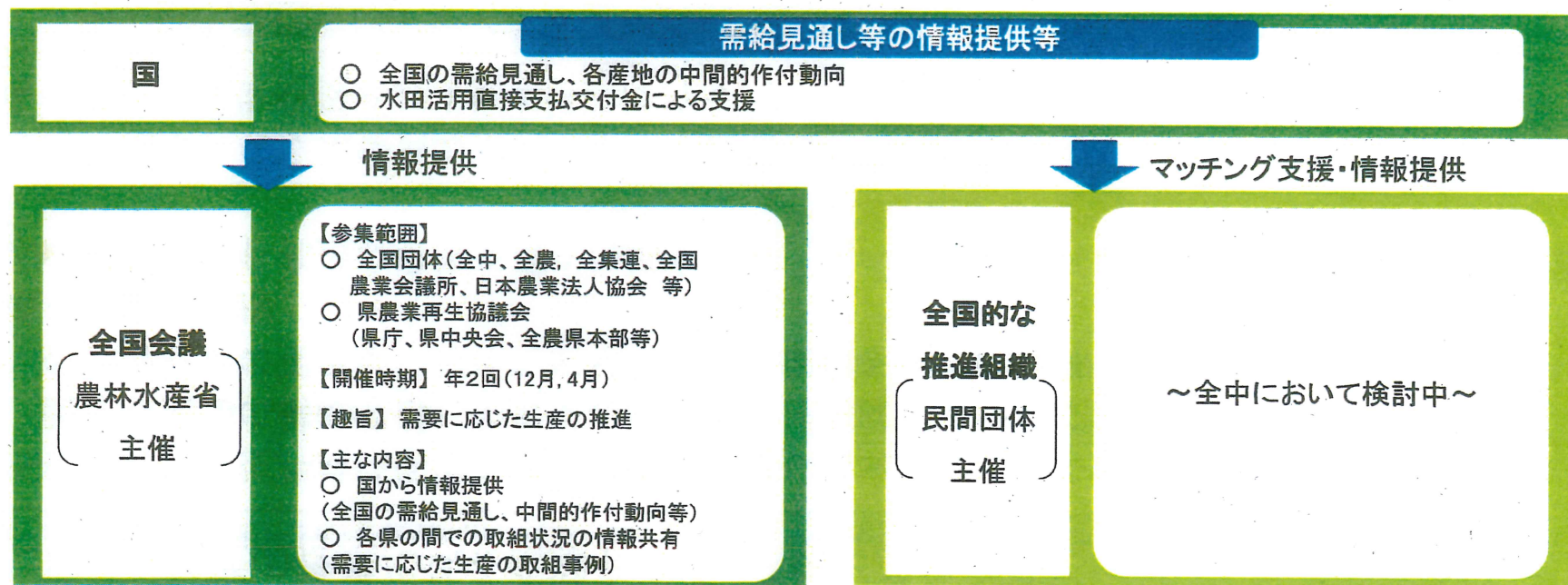


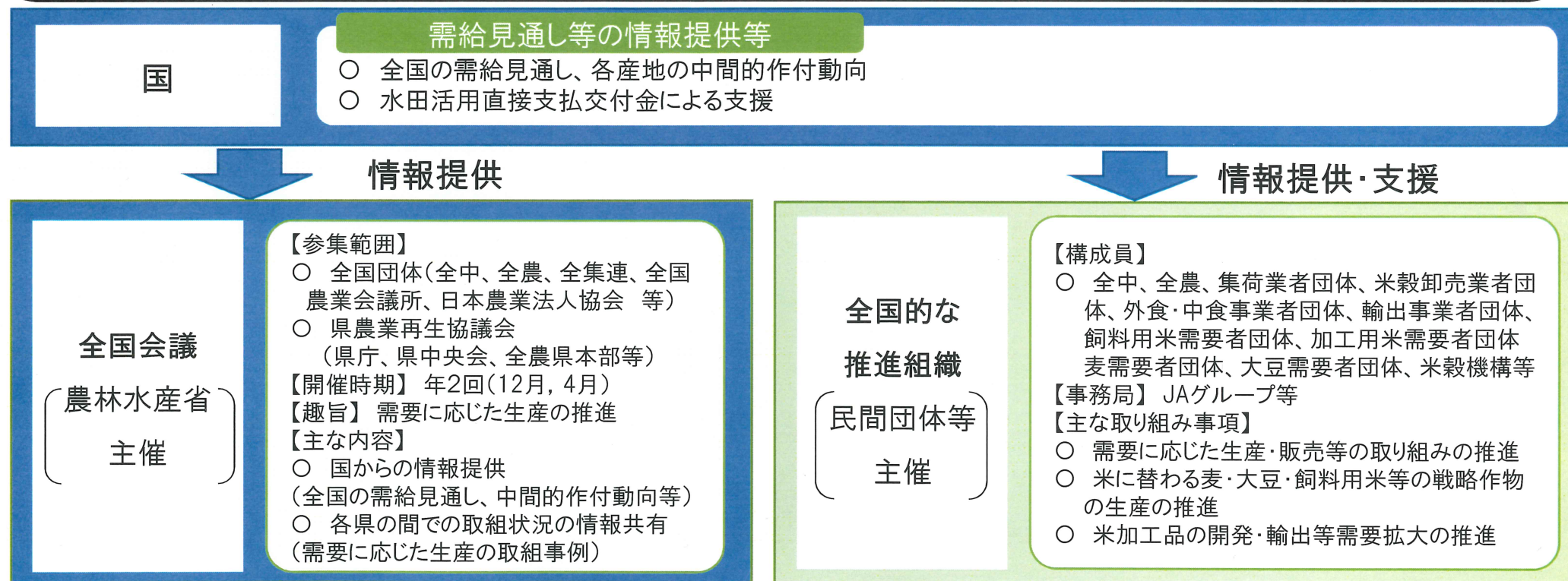
全国的な推進組織について

- 国においては既に、各都道府県が主体的に需要に応じた生産を行うことができるよう、全中、全農、全集連等の全国団体や、各都道府県の農業再生協議会を参集し、
 - ① 国から全国の需給見通しや各県の中間的作付動向等について情報提供を行うとともに、
 - ② 各都道府県の取組について情報を相互に共有する会議を年2回開催しているところであり、30年度以降もこうした取組を継続。
- 全国的な推進組織の設置に当たっては、
 - ① 行政による生産数量配分に頼らずとも、生産者が中心となって需要に応じた生産を行う今般の米政策見直しの趣旨と矛盾しないこと
 - ② 関係法令に違反しないことが前提となるもの。
- 国としても、米穀周年供給・需要拡大支援事業（安定取引拡大支援事業）の活用による産地と中食・外食事業者等との安定取引に向けたマッチングの取組への支援や、全国の需給見通し等の情報提供を行う。



全国的な推進組織について

- 国においては既に、各都道府県が30年産に向け主体的に需要に応じた生産を行うことができるよう、全中、全農、全集連等の全国団体や、各都道府県の農業再生協議会を参集し、
 - ① 国から全国の需給見通しや各県の中間的作付動向等について情報提供を行うとともに、
 - ② 各都道府県の30年産に向けた取組について情報を相互に共有する会議を年2回開催しているところであり、30年度以降もこうした取組を継続。
- JAグループは、国が示す全国需給見通しに基づき、これまでの需要に応じた生産の取り組みをさらにすすめるべく、集荷業者団体、米穀卸売業者団体、各実需者団体等を構成員とする全国協議会を設置し、取り組みをすすめる。
- 国としても、米穀周年供給・需要拡大支援事業(安定取引拡大支援事業)の活用による産地と実需者等との安定取引に向けた取り組みを支援する。



業務用途への安定取引に向けた

米 マッチングフェア 2017

東京会場

産地

大規模生産法人、
農協等



実需者

中食・外食
事業者等



来場無料

まずは事前登録を!

中食・外食
事業者等の
皆様へ

【開催日】

平成30年2月6日(火)・7日(水)

会場: TRC東京流通センター (東京都大田区平和島6-1-1)
(東京モノレール「流通センター駅」徒歩1分)

米産地の法人や農協等が、ユーザーである中食・外食事業者等と結びつき、複数年契約や播種前契約を締結するなど安定した取引につなげていくために展示商談会を開催します。この展示商談会に参加して、安定した米の供給先を開拓しませんか?

展示商談会について

2月6日(火)・7日(水) 10:00~16:00 (売り手/20ブース以上)【詳細は裏面】

セミナーについて

2月6日(火) 12:30~15:00

●生産者、実需者を交えたトークセッション

生産者: 互 泰行氏 (のりす株式会社 代表取締役社長)

実需者: 鈴木 隆氏 (アーリーフーズ株式会社 代表取締役社長)

司会者: 小谷あゆみ氏 (フリーアナウンサー)

2月7日(水)

※第1部 11:00~12:00

講師: 鈴木 隆氏 (アーリーフーズ株式会社 代表取締役社長)

内容: 「現状の業務用途米について(生産者への要望など)」

※第2部 14:00~15:00

講師: 福嶋 陽氏 (農研機構 食農ビジネス推進センター 連携推進室 上級研究員)

内容: 「農研機構の稲品種」

主催 ● 株式会社 グ레인・エス・ピー

協賛 ● 全国農業再生推進機構

後援 ● 農林水産省/(公社)日本農業法人協会/全国稲作経営者会議/(公社)日本炊飯協会/

(公社)日本べんとう振興協会/(一社)日本冷凍食品協会/(一社)全国包装米飯協会 (順不同)

※本イベントは、農林水産省補助事業(平成29年度米穀周年供給・需要拡大支援事業のうち業務用米等の安定取引拡大支援事業)の下で(株)グレイン・エス・ピーが行います。

お問い合わせ

株式会社 グ레인・エス・ピー
米マッチングフェア2017事務局: 末田、小林

〒113-0034 東京都文京区湯島2-12-5 湯島ビル3F
Tel: 03-3816-0672 Fax: 03-3816-0708
E-mail: kome-matching@grainsp.co.jp